

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

他大学と比べ同志社女子大学では、小学校・幼稚園・保育士と3種類の免許を
取得できることが一番の決め手です。他にもオープンキャンパスの時に話し聞
くと先生への印象が
とても良いことも決め手の一つはあります。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

一学期はまず部活として、人にも多く本格的に始めたい人が多いため、
学校に行く前の朝の時間や、部活から帰宅後の時間を大切にしています。
社会科科目は早くからやっておくべき!!

〔夏休み〕

夏休みは学校も早く大さな時間があるので1日10時間は勉強する必要があります。
この期間に英単語、社会科目をある程度完璧にしておけば10月頃には焦らずに
スムーズに勉強できると思います。特に社会科目は公募が近くなるとやらなくては
夏休みが一番大事な時期になります。国語は1日1題問題を解くだけで点数が
すぐ上がります。

〔2学期～入試直前〕

10月くらいには自分の成績が上がる時期が来ると。いかに知識を入れたかの
原因で選択肢が増えたりしてしまいます。でも大丈夫です。2学期からはその知識を正しく
整理していく作業をまずは12月～1月にかけて伸びます!同志社女子大学では文法問題が
たくさんあるので文法書と完璧にすることをオススメします。同志社女子大学は全ての日程の
過去問を公開していたので全てやるべきです。善悪参考書だと思います。日本史は毎年
同じような問題が出てくるので分析し続けることをオススメします。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

部活は毎日あったり、夜遅くまであったりするのはあまり障害にはなっていない。
スマートフォンはあたらしく見ようの12月くらいからは学校にも持たず電源を切っ
ておく。水と水をおいて1週間1時間くらいはあります。秋自身スマートフォン
よりもテレビ派だったのでテレビは週2-3回は見てました。フライングはあつたけど最後は
あきらめずにかんはれよう!! 自分自身が勉強できることです。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

とても長く感じる受験期も終わってしまったら一瞬です。あの時の自分があんなに後悔ばかりじゃな
いように早くから取り組むべきです。私自身第一志望校に行けずとても後悔しています。
悔いは必ず報われます。最後まであきらめずにかんはれよう!! 旧目標に向かって
頑張ってください。